記者発表資料

令和８年６月１０日
青森河川国道事務所

高校生による
メダカ郷和国（きょうわこく）クリーンナップ大作戦

■「共生の郷 メダカ郷和国」は、国道7号青森環状道路事業で一部影響を受けたキタノメダカの生息環境の保全及び地域の自然体験・教育の場として、平成14年に整備されました。
■青森河川国道事務所では、キタノメダカなどの生息に適した環境を維持するため、毎年春と秋に手入れ作業として池の清掃を実施しています。
■手入れ作業には、環境教育の一環として青森市内の高校生にも参加していただいております。

■メダカ郷和国の手入れ作業について

〇日　　時：令和８年６月１４日（日）　10:00～12:00
〇場　　所：共生の郷 メダカ郷和国（青森市戸山地内）※現地に駐車場あり
〇作業内容：水草や藻の除去
〇参加予定：弘前大学 佐原名誉教授
　　青森市内の高校生　　生徒　１４名（引率２名）
　　青森河川国道事務所 職員　１３名
〇そ の 他：小雨の場合は実施します
　　※荒天が予想される場合は、開催の可否を前日に判断します

＜昨年度の高校生による手入れ作業の状況＞





記者発表先｛青森県政記者会　建設関係専門紙　津軽新報社｝

〈問い合わせ先〉
国土交通省 東北地方整備局　青森河川国道事務所
〒030-0822 青森市中央三丁目 20-38（代表）017-734-4524
占用調整管理官　坂本（さかもと）　憲和（のりかず）（内線 309）
調査課長　兼松（かねまつ）　浩之（ひろゆき）（内線 451）

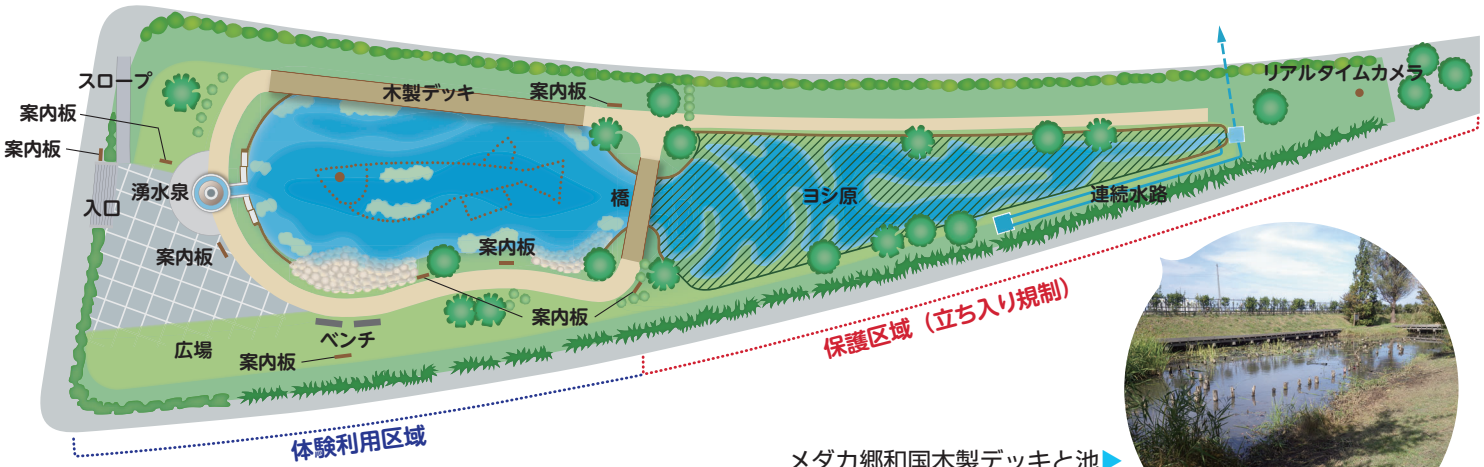
＜メダカ郷和国位置図＞



共生の郷 メダカ郷和国

・メダカ郷和国概要・

「共生の郷 メダカ郷和国」は、国道７号青森環状道路事業で一部影響を受けたキタノメダカの生息環境の保全及び地域の自然体験・教育の場として、平成 14 年に整備されました。



メダカ郷和国木製デッキと池▶

・メダカ郷和国で観察できる生物・

在来生物

メダカ郷和国では、キタノメダカをはじめ貴重な生物が多く生息しています。



キタノメダカ
（ダツ目メダカ科）
環境省・青森県レッドデータブック



ドジョウ
（コイ目ドジョウ科）
環境省レッドデータブック



ナマズ
（ナマズ目ナマズ科）



シオカラトンボ（幼虫）
（トンボ目トンボ科）



モノアラガイ
（汎有肺目モノアラガイ科）
環境省レッドデータブック



ゲンゴロウ
（コウチュウ目ゲンゴロウ科）
環境省・青森県レッドデータブック



ミズカマキリ
（カメムシ目タイコウチ科）



スイレン
（スイレン目スイレン科）

外来生物（国外外来 国内移入）、人工改良品種

メダカ郷和国では、外部から持ち込まれた外来生物、人工改良品種等も確認されています。



アメリカザリガニ
（エビ目アメリカザリガニ科）
条件付特定外来生物



モツゴ
（コイ目コイ科）
国内移入種・生態系被害防止外来種



ヒメダカ
（ダツ目メダカ科）
人工改良品種



イタチハギ
（マメ目マメ科）
生態系被害防止外来種

・メダカ生息数調査・

ビオトープ内に生息しているキタノメダカの生息数を把握するため、毎年11月に生息数調査を行い、生息数の推定を行っています。



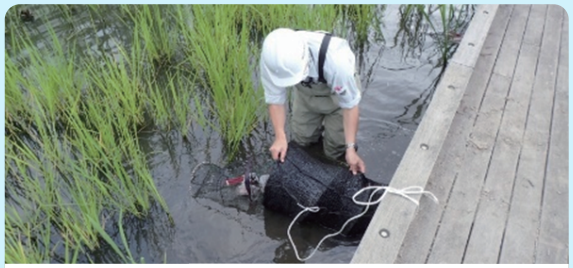
メダカ生息数調査状況



捕獲したキタノメダカ

・アメリカザリガニの駆除・

キタノメダカなど在来生物を食害するアメリカザリガニの個体数を抑制するため、毎年５～10月にアナゴ籠を用いた駆除を行っています。

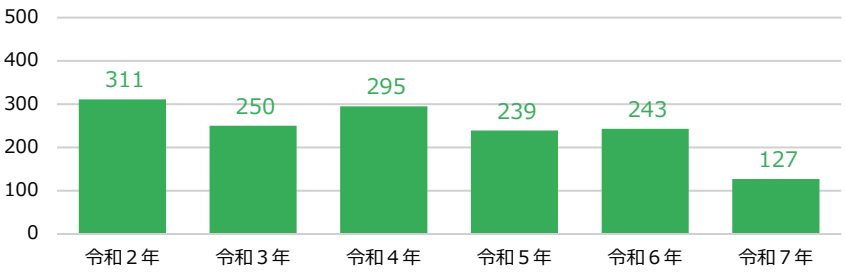


駆除作業状況

・生物多様性の保全・

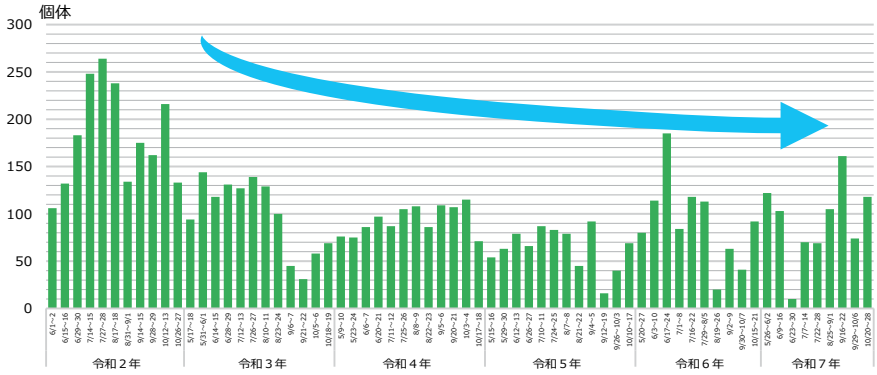
キタノメダカの確認個体数の経年変化

アメリカザリガニの駆除の結果、メダカはコンスタントに毎年100～300個体ほどが確認されています。



アメリカザリガニの捕獲個体数の経年変化

アメリカザリガニの駆除の結果、捕獲個体数は減少傾向にあります。



・メダカ郷和国活用のお願い・

メダカ郷和国では、生物の調査や生態系の研究などの環境教育の場として、ビオトープの活用にご協力いただける学校等を募集しています。
今後、メダカ郷和国をご活用いただけますよう、よろしくお願いいたします。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

15 陸の豊かさも守ろう

共生の郷 メダカ郷和国

〒030-0951 青森県青森市戸山宮崎

メダカ郷和国ホームページ

https://www.thr.mlit.go.jp/aomori/medaka/index.html

メダカ郷和国アクセスマップ



連絡先

国土交通省 青森河川国道事務所 調査課

☎ 017-734-4570